平成 21 年度第 1 回放送番組審議会

■平成 21 年度放送番組審議会委員

会　長　：　金子　春生　様
副会長　：　峰岸　忠雄　様
委　員　：　谷代　美保子　様
委　員　：　八木　大　様
委　員　：　石垣　憲　様
委　員　：　関根　忠雄　様
委　員　：　牛山　清志　様
委　員　：　棚橋　乾　様
委　員　：　小林　宏道　様
委　員　：　渡邊　剛　様

■審議会の開催状況

●平成 21 年度第 1 回放送番組審議会

日　時　：　平成 21 年 7 月 29 日午後 2 時～4 時
会　場　：　パルテノン多摩　第 2・第 3 会議室
出席委員（敬称略）
金子春生、峯岸忠雄、谷代美保子、八木大、関根忠雄、牛山清志、棚橋乾、小林宏道、渡邊剛（以上９名）

■議　事

●説明事項

⑴会社概要
⑵放送番組審議会について
⑶放送番組基準について
⑷自主制作番組について
⑸ TTV-NOW、スクール通信の放送実績について
（平成 21 年 4 月～平成 21 年 7 月放送分）
⑹主な放送番組審議会意見への対応について
⑺テレビサービスの加入状況について

●審議事項

(1)　ダイジェスト版ビデオの視聴

TTV-NOW、スクール通信、TAMA 元気印

TAMA のまちネタ、わが町の安全・安心

●委員の主な意見

・３月の審議会の時に２１年度から TTV-NOW が 45 分になるということで楽しみにしていると発言しましたが、４５分という時間は以外に長く感じる。しかし、１つ１つの事柄についてしっかりと内容を紹介し、また、参加者の感想を伝えているので、テレビを観ている側が色々なことを感じることができると思う。

・年齢層にターゲットを絞った番組もあるが、結果として TTV-NOW を 45 分に拡大して良かったと思う。スポーツイベントも多い中で、子供達がスポーツに興じている姿は微笑ましく感じる。子供達がテレビに映っている姿は、参加した人間も楽しめる。

・TTV-NOW が 45 分になるということへ期待していた。その結果、エリア内の広い地域に渡って情報をよりたくさん届けることになり、どれかが視聴者の琴線に触れれば良いと思う。

・インタビューも、される方へのスタンスに立って行っていると思うが、先日、TTV-NOW を視聴していたら、マイクを向けてインタビューをする時に、聞き手がしゃがんで子供達の目線より下でコメントを取っていたので、子供達の表情が見てとれなかったのが残念である。その辺の配慮もお願いしたい。

・安全安心は、警察の方がただ話しているのを放送するだけではなく、フリップ等を使いながら分かり易く番組作りをしてほしいと思う。

・多摩テレビと NHK の違いは、身近な情報を放送するか否かだと思う。いなぎ IC カレッジにおいても、先生方がボランティアで非常に中身の濃い授業を行っているが、情報告知が難しく、知らしめる術がない。更に、いなぎ IC カレッジを取り上げてもらう等、身近で便利な情報を取り上げていただきたい。

・アナウンサーが上手になった。聞きやすく、語りかけてくる感じになった。これからも頑張っていただきたい。

・小・中高生の親の目線で発言させていただく。地域の学校、身近な情報やイベントを通

して、地域がコミュニケーションを図っているということを伝えてもらいたい。

・地域の特性を活かして細かいところまで子供たちの表情を伝えるために、多摩テレビ側からも、取材申込みをする等、積極的に行動を興すべきである。高齢者も様々なイベントを主催しているので、高齢者の活発な活動を更に放送してもらいたい。

・参加者が少ないイベント等は、そのように見えないような編集方法した方が良い。また、市長のコメント等はそのまま放送してほしい。

・１０年ほど前から開かれた学校ということで、学校側としてﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞや紙媒体の作成等の制作をしているが、これらに加えてこれからも多摩テレビに、情報の告知等、協力をお願いしたい。

・こちらから情報を発信して取材のお願いをする形になっているが、多摩テレビからも積極的に取材等を行ってもらいたい。

・TTV-NOW で、南大沢のマタニティフェスタを取り上げていたが、テレビでは視聴したことがなかった。こういうイベントは若い方の役に立つし、放送することによってそういった方への良い情報になると思う。

・自主制作番組の種類が多い。番組のタイトルもおもしろく、工夫されている。

・スクール通信で子供の姿が写ると、地域の方も親御さんも安心できるのではないか。安全安心は、退屈になりがちなので工夫した番組制作をした方が良い。

・アナウンサーのテンポが良く聞きやすい。

・番組制作がきちんとできている。番組制作は、良い悪いではなく、視聴する人の興味もあると思う。コミュニティチャンネルは、視聴率が出てこないことが、逆にいいと思う。いろいろなメディアがあらゆる番組を制作しているので勝てない部分もあると思うが、何が必要かという価値を考えていけば良いと思う。

・多摩テレビはインターネットのプロバイダーもやっている。今は様々なネットワークも広がっているので、情報の集め方も工夫する必要があるのではないか。地域の自治会や管理組合との情報を繋げるという双方向の役割を多摩テレビが担うのもいいのではないか。

・３月の審議会で出た意見に対し、早速応えていただいて感謝している。元気印の卓球と日本舞踊を見ていて、インタビュー等印象が良かった。

・各地の行事を多く取り扱っていると思う。これについても努力していると思う。今後も引き続きよろしくお願いしたい。開票速報等も検討していただけるとありがたい。

・BGM 等は大きく聞きやすい。時々話す音声が低いときがあるので工夫してほしい。

・地上放送のデジタル化まであと２年ですが、多摩テレビとして、あと２年のうちに１１１チャンネルと１１２チャンネルの編成方針をオープンにしてみてはどうか。知らない人も多い。

・地デジになるにあたってのコンテンツはどう考えているのか。番組をアーカイブ化すると、昔の映像を節目に見ることができて良いと思う。

・以前、FM 多摩の取材を校長室で受けたことがある。例えば、そのような形でライブ放送の番組もこれから増やしていくと面白いと思う。

・CATV の利点は、各家庭のテレビへケーブルが繋がっていることであり、伝送路についての自由度は一番あると思うので、その辺を活かしてほしい。

・秋に開催されるハロウィン in 多摩センターのライブ放送をしてみてはどうか。試験的なことを重ねていけば、イベント自体の可能性にも繋がっていくと思うので、検討していただきたい。

・アーカイブについてですが、地域の番組については、どこにあるかたどる手段がわからないので、前向きに考えていただきたい。動画でなくてもいいと思う。視聴者からのニーズがあれば、再放送してもいいと思う。

・ウェブではなくても、番組作りのブログ等も作っていくのはどうか。そういうものを見てから、番組を見てみようという視聴者もいると思う。

・ドキュメンタリー番組「野翁」の視聴者からの反応はどうだったのか。それに基づいて、オリジナリティのある番組作りに繋げていけるのではないか。

・これから完全デジタル化が進むにあたり、アナログ放送とは違った内容の番組が必要と

なるなど、色々と大変だとは思うが、先に立った視点や周りの動きを把握しながら番組制作を行って行けば良いと思う。

以　上